



業績目録(花登正宏)

著者	東北大学史料館
号	1161
発行年	2012-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/62881

花登正宏教授業績目録

平成 24 年 3 月
東北大学史料館
(著作目録第 1161 号)



花 登 正 宏 教 授 略 歴

生年月日	昭和22年10月14日
本 籍 地	京都府
職 名	教授
所 属	文学研究科

最終学歴

昭和50年 9 月	東北大学大学院文学研究科中国学専攻博士課程中途退学
-----------	---------------------------

職 歴

昭和50年10月	山形大学人文学部専任講師
昭和55年10月	山形大学人文学部助教授
昭和60年 4 月	大阪市立大学文学部助教授
平成元年 4 月	東北大学文学部助教授
平成 6 年 4 月	東北大学文学部教授
平成12年 4 月	東北大学大学院文学研究科教授

学 位

平成 5 年 6 月	博士（文学）（東北大学）
------------	--------------

学会等における活動

日本中国学会評議員（平成9年4月～平成19年3月）

日本中国語学会理事（平成10年4月～現在）

東方学会地区委員（平成15年4月～現在）

東北中国学会会長（平成16年5月～平成22年4月）

日本中国学会理事（平成19年4月～現在）

中国文史哲研究会会長（平成18年4月～現在）

社会における活動

日本学術振興会科学研究費審査委員（平成12年4月～平成14年3月）

中国語検定協会評議員（平成14年4月～平成16年3月）

大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）専門委員会委員

（平成16年4月～平成18年3月）

「魅力ある大学院教育」イニシアティブ委員会分野別審査部会専門委員（書面審査委員）

（平成17年8月～12月）

日本学術会議連携会員（平成18年4月～現在）

業 績 目 録

I. 研究論文

I. 著書・編著

1. 古今韻会挙要の研究－中国近世音韻史の一側面
(汲古書院, 平成9年10月)
2. 人文科学ハンドブック (中村捷, 千種眞一, 松本宣郎, 海野道郎と共編著)
(東北大学出版会, 平成17年3月)
3. 東北－その歴史と文化を探る
(中村捷, 千種眞一, 松本宣郎, 海野道郎と共編著)
(東北大学出版会, 平成18年3月)

II. 研究論文 (全て単著)

1. 中古中国語の喉音韻尾－特に曾・梗摂の合流について－
(集刊東洋学32, 中国文史哲研究会, 昭和49年10月)
2. 古今韻会挙要考－古今韻会挙要における三等重紐諸韻－
(日本中国学会報29, 昭和52年10月)
3. 古今韻会挙要考－韻類について－
(山形大学紀要 (人文科学) 9－1, 昭和53年2月)
4. 『古今韻会挙要』反切考－特に反切上字について－
(東方学58, 東方学会, 昭和54年7月)
5. 蒙古字韻ノート－とくに開口二等牙音の舌面音化について－
(中国語学226, 日本中国語学会, 昭和54年11月)
6. 明代通俗小説『律条公案』の音注について
(均社論叢10, 昭和56年10月)
7. 北京大学蔵『音学臆説』について
(集刊東洋学49, 昭和58年5月)

8. 《礼部韻略七音三十六母通考》声母考
（『伊地智善繼・辻本春彦両教授退官記念中国語学文学論文集』，
東方書店，昭和58年12月）
9. 「大元累授臨川郡呉文正公宣勅」及び『汗漫唵』所載「元世祖勅書」のパス
バ文字について
（山形大学紀要（人文科学）10-3，昭和59年1月）
10. 啓蒙教育家としての陳澧と反切系連法
（人文研究37-3，大阪市立大学文学部，昭和60年12月）
11. 《礼部韻略七音三十六母通考》韻母考
（音韻学研究2，中華書局，昭和61年7月）
12. 古今韻会挙要所引説文解字考ーとくに卷二十五についてー
（人文研究38-4，昭和61年12月）
13. 古今韻会と古今韻会挙要
（人文研究39-3，昭和62年12月）
14. 《詩詞通韻》考
（語言学論叢15，商務印書館，昭和63年3月）
15. 《蒙古字韻校本・校勘記》校補
（東北大学文学部研究年報39，平成2年3月）
16. 四声通解所引古今韻会考
（東北大学文学部研究年報40，平成3年3月）
17. 牙音の舌面音化について
（集刊東洋学65，平成3年5月）
18. 詞韻の書について
（東北大学文学部研究年報43，平成6年3月）
19. 『古今韻会挙要』の依拠した音系について
（『社会と文化における中心と辺境』，東北大学文学部，平成7年3月）
20. 『古今韻会挙要』の反映する音の特色とその依拠した音系
（文化59-3，4，東北大学文学部，平成8年3月）

21. 再論《古今韻會舉要》所引的《說文解字》
(訓詁論叢 3, 文史哲出版社, 平成 9 年 5 月)
22. 反切の實際的研究序説
(中国学志「否」号, 大阪市立大学中国学会, 平成10年 2 月)
23. 關於日本東北大学所蔵的写本《欽定四庫全書說文解字》
(『第 2 屆國際清代學術研討會論文集』, 国立中山大学, 平成11年11月)
24. 劉熙載『四音定切』における反切理解
(『中国文人の思考と表現』, 汲古書院, 平成12年 7 月)
25. 關於李鄴《切韻考》的反切理解
(『漢語音韻學論文集第 6 屆國際學術研討會論文集』, 香港文化教育出版社, 平成12年 8 月)
26. 中国音韻学史の一資料
(東北大学中国語学文学論集 5, 東北大学中国文学研究会, 平成12年11月)
27. 漢字注音法「反切」について
(京都産業大学国際言語科学研究所所報22, 平成13年 3 月)
28. 中国近世の共通語音
(『人の移動にともなう社会と文化の変動についての総合的研究』, 東北大学文学研究科, 平成13年 3 月)
29. 『古今韻會舉要小補』の刊行について
(集刊東洋学88, 平成14年10月)
30. 明代小学書刊行者目録(小学書)初稿
(東北大学中国語学文学論集 8, 平成15年11月)
31. 2001年～2002年日本的「中国音韻学研究」述評
(文與哲 4, 国立中山大学, 平成16年 6 月)
32. 明代における非坊刻本小学書の出版について
(東北大学中国語学文学論集 9, 平成16年11月)
33. 『古今韻會舉要小補』について
(東北大学中国語学文学論集10, 平成17年11月)

34. 魯迅の經濟生活
(魯迅研究月刊2006-5, 北京魯迅博物館, 平成18年5月)
35. 魯迅の日記より見た書籍購入傾向の変遷
(東北大学中国語学文学論集11, 平成18年11月)
36. 編纂《古今韻會舉要》の目的
(『中国伝統文化与元代文献国際學術研討会會議論文集』,
中華書局, 平成19年11月)
37. 『洪武正韻彙編』在中国辞書史上的地位
(語苑擷英2, 中国大百科全書出版社, 平成19年12月)
38. 収録字の配列方法より考察する中国辞書史の構想
(東北大学中国語学文学論集13, 平成20年11月)
39. 我が国における『洪武正韻彙編』の受容
(學林54・55, 立命館大學中國藝文研究會, 平成23年12月)

Ⅲ. 研究成果報告書

1. 中国士大夫の趣味と生活
(平成三年度・四年度科学研究費補助金一般研究(B)研究成果報告書,
平成5年3月)
2. 漢字注音法「反切」の実際的研究
(平成七年度～平成九年度科学研究費補助金基盤研究(C)
(2)研究成果報告書, 平成10年3月)
3. 俗文学資料による中国近世音の研究
(平成十二年度～平成十四年度科学研究費補助金基盤研究(C)
(2)研究成果報告書, 平成15年3月)

Ⅳ. 口頭発表

1. 中古中国語の喉音韻尾
(第23回東北中国学会, 昭和49年5月, 東北大学文学部)

2. 関于『礼部韻略七音三十六母通攷』
(中国音韻学研究会第2届學術討論会, 昭和57年8月2日,
西安市陝西賓館, 中国)
3. 再論《古今韻会举要》所引的《說文解字》
(第1届国際訓詁学研討会, 平成8年4月19日, 国立中山大學, 台湾)
4. 関于日本東北大学所蔵の写本《欽定四庫全書說文解字》
(国際清代學術研討会, 平成11年11月19日, 国立中山大學, 台湾)
5. 『古今韻会举要小補』の刊行について
(「東アジアにおける出版文化の研究」第4回研究集会, 平成14年5月18日,
東北大学文教大講義室)
6. 明代における小学書の出版について
(「東アジアにおける出版文化の研究」平成16年度第6回研究集会, 平成16年
6月26日, 共済会館八汐荘 (沖縄))
7. 編纂《古今韻会举要》的目的
(中国伝統文化與元代文献国際學術研討会, 平成19年11月17日, 北京師範大
学古籍研究所, 中国)

V. 學術講演

1. 中国字書の話
(平成6年度シナ学会, 平成6年4月30日, 東北大学文学部)
2. 宋末元初の共通語
(平成9年度シナ学会, 平成9年4月12日, 東北大学文学部)
3. 反切漫談
(平成12年度シナ学会, 平成12年4月22日, 東北大学文学部)
4. 漢字注音法「反切」について
(平成12年度京都産業大学国際言語科学研究所公開講演, 平成12年7月22日,
京都産業大学)
5. 小学と近世における小学書の出版について
(平成15年度シナ学会, 平成15年4月19日, 東北大学文学部)

6. 2001-2002年日本の中国音韻学研究
(平成15年9月3日, 国立中山大学中国文学系, 台湾)
7. 2001-2002年日本の中国音韻学研究
(平成15年9月15日, 国立台湾師範大学国文系, 台湾)
8. 「反切」について
(大東文化大学文学研究科中国学専攻講演会, 平成16年12月18日, 大東文化大学)
9. 魯迅與購書
(国際シンポジウム「魯迅の起点：仙台の記憶」, 中国北京魯迅博物館, 平成17年9月28日)
10. 魯迅の経済的生活
(大東文化大学文学研究科中国学専攻講演会, 平成17年12月17日, 大東文化大学)
11. 魯迅の経済生活
(国際シンポジウム「魯迅と藤野先生」, 仙台国際センター, 平成18年2月18日)
12. 漢字の魅力と魔力ー反切の成立とその応用
(東北大学大学院文学研究科第4期有備館講座, 大崎市スコレハウス, 平成19年3月14日)
13. 字書・音書・義書ー収録字の配列方法より考察した中国辞書史の構想
(琉球大学法文学部新棟111番教室, 平成20年6月28日)

VI. 辞典項目執筆

1. 『漢字百科大事典』(明治書院, 平成8年1月)
「爾雅」「釈名」「広雅」「經典釈文」「広韻」「方言」「集韻」「類篇」「音韻闡微」「古今韻会举要」「草書韻会」「礼部韻略」「洪武正韻」「漢字索引書目録〔中国〕」
2. 『世界文学大事典』(集英社, 平成8年ー平成10年)
「韻」「韻書」「漢字」「反切」「平水韻」「徐鉉」「陸德明」「広韻」

VII. その他

1. 中国音韻学研究会第2回大会に参加して
(東方学66輯, 昭和58年7月)
2. 悶熱 北京の夏
(山形新聞, 昭和58年8月19日)
3. ある中国語教科書
(山形新聞, 昭和59年3月27日)
4. 中国語学・中国文学研究に関わることも
(東北大学学報1364, 平成6年3月)
5. 北京風俗図譜 (附属図書館蔵)
(広報167, 「原著・貴重図書・重要資料シリーズⅧ」, 平成7年9月)
6. 東北大学附属図書館所蔵『欽定四庫全書説文解字』について
(木這子23-3, 「シリーズ貴重図書13」, 平成10年12月)
7. 学界展望 (語学)
(日本中国学会報54, 平成14年10月)
8. 中国の言語と文学
(佐竹保子と共著, 『人文社会科学の新世紀』, 東北大学出版会, 平成15年3月)
9. 学界展望 (語学)
(日本中国学会報55, 平成15年10月)
10. 明代における小学書の出版について
(ナオ・デ・ラ・チーナ8, 平成17年1月)
11. 外国語を学ぶ (中国語)
(『人文科学ハンドブック』, 東北大学出版会, 平成17年3月)
12. 鲁迅と東北大学
(まなびの杜41, 東北大学, 平成19年9月)
13. 漢字の魅力と魔力
(『ことばの世界とその魅力』, 東北大学出版会, 平成20年4月)